



01 カーナビは どうして正確な 道がわかるの？



相対性理論による時間の誤差を放っておくと、なんと1日で約10kmもの距離の誤差が出てしまう

いまやドライブレコーダーの必需品ともいえるカーナビ。そこにはアメリカ軍事航空衛星を利用した全地球測位システムGPSが使われている。精密な原子時計を積んだ衛星を地球の周りに24個ほど飛ばし、常に4つ以上から電波を受信。もしひとつの時計が1万分の1秒でも狂ってしまうと、位置情報が30km程度間違ってしまう。また、原子時計は、衛星が高速で運動しているためわずかに遅れる「特殊相対性理論」と、重力の影響が少ないためにやや進む「一般相対性理論」が影響。この差を補正しながらGPSの運用を行っている。



天候に左右されず栽培できる「PASONA O₂」。
画像提供・取材協力/パソナ

02 オフィス街に 出現した、 野菜工場を 見学に行こう！

東京・大手町野村ビルの地下2階。かつてりそな銀行の金庫室だった場所に昨年、ハイテク野菜工場「PASONA O₂」が誕生した。コンピュータによる完全制御のもと、太陽光を一切使わず電気による光源で無農薬栽培を目指している。しかし、このプロジェクト、実は「雇用の創出」が一番の目的。都会のフリーターやニートたちが農業に関心をもつ機会を提供しているのだ。平日の11時～18時の間は見学可能（見学時間の変更もあるので要確認）。勉強がてらふたりで出かけてみるのもいいかも。



03 暗闇のなかで 人間の不思議 を体験！



画像提供・取材協力/特定非営利活動法人
ダイアログ・イン・ザ・ダーク

「ダイアログ・イン・ザ・ダーク」は、人工的に完全な闇の空間をつくりだし、視覚障害者を案内人に7～10人のグループで参加するワークショップ形式のイベント。視覚以外の聴覚、触覚、嗅覚、味覚を使って空間を認識することによって、性別や人種、障害の有無、文化や生活環境の異なる人々の新しい関係性を探り、「心のバリアフリー」を感じてもらおう場を提供。東京の開催は不定期ながら、口コミで参加者が殺到し、チケットが即完売したという逸話も。視覚本位の日常生活から抜け出して、自分自身を見つめ直してみよう。

04 科学の原点に 出会える 「科学博物館」



地上3階、地下3階、総展示数は約1万点強。
画像提供・取材協力/国立科学博物館

国立科学博物館の展示面積は約8900㎡。科学系博物館としては国内最大級の広さだ。1日じっくり見て回るのは大変なので、自分でコースを立てて見学しよう。博物館のテーマは「地球生命史と人類―自然との共存をめざして」。地球、生命、科学技術の過去といま、そして人類のかかわりについて、最新の研究成果に基づいた実物標本資料を中心に斬新な手法で展示している。

JR上野駅公園口から徒歩5分 ☎03-3822-0111 / ☎03-3822-0114 (土・日・祝)
入場料:一般・大学生500円、小・中・高生は無料 <http://www.kahaku.go.jp>

Science Walker
Spring 2006

ちょっと違った
新デート

みんなに差をつける！
ひと味違うお出かけスタイル